

今月の御教え

神の機感にかのうた氏子が少ない。身代と人間と達者どがそろって三代続いたら家柄人筋となって、これが神の機感にかのうたのじゃ。神の機感にかなわぬと、身代もあり力もあるが、まめにない。まめで賢うても身代をみたすことがあり、また大切なものが死んで、身代を残して子孫を切らしてしまふ。神のおかけを知らぬから、互い違いになってくる。信心して神の大恩を知れば、無事達者で子孫も続き身代もでき、一年まさり代まさりのおかけを受けることができるぞ。

……金光教祖御理解 第七十八節……

解説 財産と人間と健康が揃って、親、子、孫と三代続いたら、それこそ神様の願いに適っているとの御理解であります。即ち、『余裕のある財力』と『能力と信用・品格のある人間性』そうして『健康』であることが、親、子、孫と三代続くという事ではありますが、この三つの事が揃って続いて行くということは、なかなか至難のことです。

しかし、親神様・金光様は、私達氏子にその三つのことが揃って続いて行く事を切に願われておられ、その実現のために是非とも「天地の神の大恩」を知ってほしいと仰るのであります。

その「天地の神の大恩」を知るには、私たちは「神人あいよかけよの生活運動」の「願い」にある「神のおかけにめざめ、お礼とお喜びの生活をすすめ」る事が出来てゆかねばなりません。

今年当西条教会においては教会設立百十年の記念大祭をお仕えする御年柄ですので「天地の神の大恩」を分かせて頂くべく一層、信心の稽古に励ませて頂きましょう。